

サハリンツアーに参加して

村瀬美江

サハリンツアーでは様々な鳥が観察されましたが、私は私の記録の中から白鳥に関わる部分だけを経時的に報告致します。

<5月2日>

- (1) コルサコフからユジノサハリンスクへ向かう途中、ソロヴィヨフカ付近の高台から眼下に広がるロソセイ湾を眺め、白樺の木の間がくれに白鳥の姿が見えた様なのですが、遠目に過ぎて数は定かではありませんでした。このロソセイ湾が最大の白鳥の渡りのコースになっていると聞かされ、心弾む思いでした。
- (2) 午後、アニフスキー半島北部のオホーツコエ集落に面したツナイチャ湖で比較的近距离に12羽のオオハクチョウが観察され、うち幼鳥は3羽でした。
- (3) 又、ツナイチャ湖のすぐ北に隣接するイズメンチヴオエ湖では白鳥は見られませんでした。
- (4) ユジノサハリンスクへの帰路、午前中に白鳥らしきものが観察されたソロヴィヨフカに立ち寄り、遠目でしたが1,000羽を越えると見られる白鳥の列を眺めることが出来ました。

<5月3日>

- (1) この日はアニフスキー半島の南に向うコースで、ユジノサハリンスクを出発し、コルサコフを経て、まずメレー川河口を観察しましたが、ここでは白鳥は見られませんでした。
- (2) メレーから更に東へ向い、オジヨルスキーを経てブッセ湖の東岸に至り、ここで19羽のオオハクチョウを観察しました。幼鳥は4羽。
- (3) ブッセ湖から南にコースをとり、ノビコボから東に向ってプチチエ湖に着きました。ここは鳥の湖と呼ばれるそうです。高台で昼食。幼鳥1羽を含むオオハクチョウ6羽を観察しました。帰り道で丘を廻り込んだ湖面に幼鳥33羽を含む106羽のオオハクチョウの群れを観察。しかし私共が近付くと32羽は飛び上がりました。サハリンでは人は庇護者ではなく、敵と見えるのかも知れません。
- (4) 再びノヴィコボに至り、今度はブッセ湖の西岸から観察。ここでは63羽と幼鳥4羽を含む17羽のオオハクチョウが見られました。
- (5) この後、もと来た道に戻り、小ブッセ湖、ババイスコエ湖、チビサンスコエ湖を観察しましたが、白鳥は見当りませんでした。

<5月4日>

- (1) この日は午前中、ロソセイ湾を昨日の反対側のユジノカミシヨビー半島の方向へ下がり、スヤ川河口周辺を観察しました。ここでは湾を西へ廻るコースの3地点で見、最初の地点で52羽と32羽の群、次の地点で71羽と380~400羽の群、最後の地点では234羽の群を見ることが出来まし